

# 大阪PCB廃棄物処理事業だより (No.35)

## ◎ PCB廃棄物の処理状況について（操業開始～平成25年9月30日）

対象物	※処理実績（登録台数比率） 廃棄物個体完了ベース	
	近畿2府4県	大阪市
トランス類	2,006台（62%）	996台（76%）
コンデンサ類	41,800台（62%）	11,125台（89%）
PCB油類	845本（52%）	408本（83%）

※大型のPCB廃棄物は分割前の台数、また、登録台数は平成25年3月31日現在の台数で集計しています。

## ◎ 大阪PCB廃棄物処理事業監視部会の開催について

9月27日、大阪PCB廃棄物処理事業監視部会が此花会館において開催されました。

今年度からは、主催が大阪市から近畿ブロック産業廃棄物処理対策推進協議会（構成：近畿2府4県13政令市）となりました。

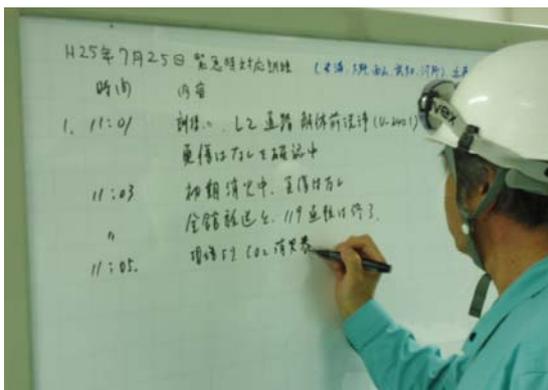
弊社から「大阪PCB廃棄物処理事業の進捗」について説明を行い、有識者の方々からPCB廃棄物及び運転廃棄物の処理の見通しや作業環境の改善、労働災害などについて専門的な意見、アドバイスをいただきました。

次に、大阪市から「環境モニタリング調査結果」についての報告がありました。また、環境省からは「PCB廃棄物の処理推進策の検討、処理期限の見直し」の報告の中で、地域間移動の検討に関する説明がありました。有識者からは、環境省の処理基本計画変更時期についての質疑や広域移動でのリスクコミュニケーションを求める意見がありました。



## ◎ 緊急時対応訓練の実施について

今年度は「小規模火災」を訓練テーマとして毎月1回実施しています。7月25日と8月28日には解体グループ、また9月26日には分析グループが訓練を行いました。現場の担当者が火災を発見し、上司への連絡と同時に付近の作業者に応援を求め、複数の人員による初期消火の実施と消防への通報を模擬で行いました。また中央制御室では、現場から送られてくる火災の情報をホワイトボードに迅速に記載し状況を把握しました。このようにグループ毎の訓練を毎月行うことで緊急時に的確に対処出来るように努めています。



## ◎ 安全教育の実施について

7月の安全教育では、8月から実施される定期点検に係る各設備の分解点検、検査・工事のスケジュールを説明しました。また、毎年7月には熱中症予防の教育を行っていますが、今年は外部から講師を招き、JESCO、運転会社、及び定期点検・工事を実施する企業の責任者・安全担当者が教育を受けました。

8月の教育では、6月30日に発生した労働災害の再発防止策として、「仕事の基本」について、5S（整理、整頓、清掃、清潔、躰）の必要性、KY（危険予知）活動、ヒヤリハット活動、三現主義（現場、現物、現象）、事故・災害の起こる仕組みなどの教育を行いました。

9月の教育では、「安全・確実な運転」に関し、安全を維持するための必要事項について教育しました。



「熱中症予防」の教育



「仕事の基本」の教育

## ◎ 施設見学の状況について

当施設への見学者は、操業開始以降、平成25年9月30日現在で9,018名（1,214団体）となっています。平成25年7月から9月の見学者数は、発電設備関係企業の方が研修のために見学されたのをはじめ、企業・自治体の方々等計80名（22団体）でした。

### ☆大阪PCB廃棄物処理施設見学方法☆

弊社のホームページを参照または総務課へご連絡下さい。

- ・自由見学・西棟1階情報公開ルーム（月～金曜日の午前10時から午後4時まで）
- ・予約見学・西棟1階情報公開ルーム、見学者ホールなど  
毎週火、木曜日（午前10時から・午後2時から）

【問い合わせ】 日本環境安全事業（株）大阪事業所

TEL：06-6468-0575

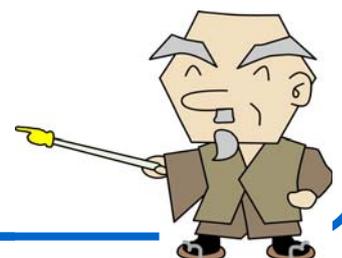
ホームページ：<http://www.jesconet.co.jp>



舞子（まいこ）



洲男（しまお）



べん蔵（べんぞう）



【発行】 日本環境安全事業株式会社 大阪事業所

総務課／安全対策課／運転管理課 06-6468-0575

営業課（弁天事務所） 06-6575-5575